

## 平成 2 4 年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b> 産業教育の振興を図り、産業・経済の発展に貢献できる有為な人材を育成する。</p> <p><b>【定量的指標】</b> ●産業教育に必要な実験・実習装置等の整備 平成 2 4 年度 県立高校 4 校</p>		
達成予定年度	平成 2 4 年度	中間評価年度	—
対応事業	<p>学校施設環境改善に関する事業</p> <p>・産業教育施設の整備に関する事業（高等学校及び中等教育学校の後期課程に限る。）</p>		
評 価	<p>県立高校 4 校について、産業教育に必要な特別装置（旋盤、精密溶剤蒸溜装置、電子計算組織）を整備し、教育環境の充実を図ることができた。</p>		

## 平成 2 4 年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b></p> <p>地域性や患者の看護の必要度に応じた安全・安心で質の高い看護を持続的に提供するため、看護師養成所の教育内容の充実や看護教員の資質の向上など教育環境の整備の促進を図る。</p> <p>また、看護職員の需要の増加に伴い、看護職員の確保を図るため、看護師養成所の施設整備を行う。</p> <p><b>【定量的指標】</b></p> <p>●校舎の整備</p> <p>平成 2 4 年度 2 校</p>		
達成予定年度	平成 2 4 年度	中間評価年度	—
対応事業	<p>医療提供体制施設整備に関する事業</p> <p>・看護師等養成所施設整備事業</p>		
評 価	<p>京都医師会看護高等専門学校は、築後 4 0 年以上が経過し、教室や共用スペースの雨漏り、外壁の剥落等施設の老朽化が進んでいた。</p> <p>また、福岡県私設病院協会専門学校は、校舎の一部について築後 4 0 年以上が経過し、雨漏りや施設の損傷により施設の一部が使用できないなど老朽化が進むとともに、学校が立地する地元市からは耐震上の問題が指摘されていた。</p> <p>平成 2 4 年度地域自主戦略交付金の活用による両校舎の整備により、看護学生の教育環境の向上が図られたのみならず、看護師養成所における教育内容の充実、地域はもとより県内の看護職員の確保に寄与するものと評価している。</p> <p>※ 京都医師会看護高等専門学校施設整備事業は、工事の遅延により事業の一部を翌年度に繰越したため、平成 2 5 年 5 月末の竣工後、地域自主戦略交付金を交付した。</p>		

## 平成24年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b> 農業用排水施設等の機能を確保することにより、定住及び地域間交流の促進を図る。</p> <p><b>【定量的指標】</b> ●定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能が確保された農地 平成24年度 69.1ha</p>		
達成予定年度	平成24年度	中間評価年度	—
対応事業	<p>農山漁村活性化対策整備に関する事業</p> <p>・農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律（平成十九年法律第四十八号）第六条第二項の規定による交付金の交付の対象となる事業等（都道府県が単独で又は当該都道府県の区域内に存する市町村と共同して作成する同法第六条第一項に規定する活性化計画に基づく事業等に限る。）</p>		
評価	<p>(1) 金武西地区（受益面積 A=5.8ha） 区画整理付帯工事 一式等</p> <p>(2) 長峰地区（受益面積 A=17.3ha） 区画整理付帯工事 一式等</p> <p>(3) 西牟田地区（受益面積 A=46.0ha 排水路工事 240m） 排水路工事 L=63m</p> <p>上記事業の実施により、農地の耕作放棄地化や農業用排水施設等の機能低下を防止することができた。</p> <p>今回、定住や地域間交流を図るための基盤づくり（受益面積 69.1ha）が着実に実施されたことから、今後、近隣小学校児童による体験農業により交流人口の増加を図るなどの取組みを実践していく。</p>		

## 平成24年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b></p> <p>福岡都市圏における主要な交通拠点へのアクセスを強化する道路整備を行うことにより、都市圏が持つポテンシャルの向上及び生活環境・都市景観の向上を図るとともに、人にやさしい活力ある地域づくりを行う。</p> <p><b>【定量的指標】</b></p> <p>●福岡空港、博多駅30分到達カバー人口比率の拡大</p> <p>福岡空港   平成19年度末 45.7% → 平成24年度末 47.1%</p> <p>博多駅       平成19年度末 52.2% → 平成24年度末 53.1%</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成24年度	中間評価年度	—
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、道路の改良に係る事業（国の直轄事業その他の他事業と密接に関連して実施する事業又は大規模構造物の整備を伴う事業を除く。）</li> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、交通安全対策に係る事業</li> <li>・道路（一般国道又は都道府県道に限る。）の修繕に関する事業</li> </ul>		
評価	<p><b>【達成状況】</b></p> <p>●福岡空港、博多駅30分到達カバー人口比率の拡大</p> <p>福岡空港   平成19年度末 45.7% → 平成24年度末 47.2%</p> <p>博多駅       平成19年度末 52.2% → 平成24年度末 53.2%</p>		

## 平成24年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b></p> <p>生活中心都市へのアクセスを改善する道路整備を行い、安心して安全なゆとりある基礎生活圏の形成を行う。地域住民の快適かつ安心な生活環境を確保する。</p> <p><b>【定量的指数】</b></p> <p>●二次地方生活圏中心都市への60分到達カバー人口比率の拡大</p> <p>久留米市 平成20年度 87.6% → 平成24年度末 91.7%</p> <p>大牟田市 平成20年度 54.2% → 平成24年度末 61.7%</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成24年度	中間評価年度	—
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、道路の改良に係る事業（国の直轄事業その他の他事業と密接に関連して実施する事業又は大規模構造物の整備を伴う事業を除く。）</li> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、交通安全対策に係る事業</li> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、無電柱化に係る事業</li> <li>・道路（一般国道又は都道府県道に限る。）の修繕に関する事業</li> </ul>		
評価	<p><b>【達成状況】</b></p> <p>●二次地方生活圏中心都市への60分到達カバー人口比率の拡大</p> <p>久留米市 平成20年度 87.6% → 平成24年度末 92.0%</p> <p>大牟田市 平成20年度 54.2% → 平成24年度末 62.1%</p>		

## 平成24年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b></p> <p>福岡、北九州両都市圏の中間に位置する筑豊地域のポテンシャルを活かすことのできる道路整備を行い、各都市の安全・安心かつゆとりある生活環境の確保による地域の浮揚を図る。</p> <p><b>【定量的指数】</b></p> <p>●主要交通拠点60分到達カバー人口比率の拡大</p> <p style="padding-left: 20px;">新北九州空港 平成19年度末 48.1% → 平成24年度末 51.8%</p> <p>●高速IC30分到達カバー人口比率の拡大</p> <p style="padding-left: 20px;">九州縦貫自動車道IC 平成19年度末 56.5% → 平成24年度末 57.5%</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成24年度	中間評価年度	—
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、道路の改良に係る事業（国の直轄事業その他の他事業と密接に関連して実施する事業又は大規模構造物の整備を伴う事業を除く。）</li> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、交通安全対策に係る事業</li> <li>・道路（一般国道又は都道府県道に限る。）の修繕に関する事業</li> </ul>		
評 価	<p><b>【達成状況】</b></p> <p>●主要交通拠点60分到達カバー人口比率の拡大</p> <p style="padding-left: 20px;">新北九州空港 平成19年度末 48.1% → 平成24年度末 51.9%</p> <p>●高速IC30分到達カバー人口比率の拡大</p> <p style="padding-left: 20px;">九州縦貫自動車道IC 平成19年度末 56.5% → 平成24年度末 60.3%</p>		

## 平成24年度評価結果

### 【目標】

成果目標 東九州軸における主要交通拠点へのアクセスを強化する道路整備を行い、地域産業の物流支援や観光業の発展に寄与すると共に更なる生活環境の向上を図る。

### 【定量的指数】

●東九州自動車道のICへの30分到達カバー人口の拡大

平成19年度末 874,075人 → 平成24年度末 874,192人

●苅田港への60分到達カバー人口の拡大

平成19年度末

## 平成24年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b></p> <p>道路交通環境を整備することで、福岡県内の道路における死傷事故率が削減され、安全・安心な道路交通環境を実現する。</p> <p>特に、小学校等に通うための多くの児童が利用する通学路について、安全・安心な歩行空間を確保する。</p> <p><b>【定量的指数】</b></p> <p>●福岡県内における死傷事故率</p> <p style="padding-left: 2em;">平成20年度から平成24年度で1割削減</p> <p style="padding-left: 2em;">(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成24年度	中間評価年度	—
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、交通安全対策に係る事業</li> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、無電柱化に係る事業</li> <li>・他の社会資本整備に関する事業等と一体となってその効果を増大させるため実施されるものとして事業実施計画の添付資料に記載された関連社会資本整備事業</li> <li>・他の社会資本整備に関する事業等と一体となってその効果を増大させるため実施されるものとして事業実施計画の添付資料に記載された効果促進事業</li> </ul>		
評価	<p><b>【達成状況】</b></p> <p>●福岡県内における死傷事故率</p> <p style="padding-left: 2em;">平成20年度 40.8 → 平成24年度 36.8</p> <p style="padding-left: 2em;">事業の実施により、約1割の死亡事故率の削減を達成した。</p> <p>※ 死傷事故率（件／億台キロ）・・・車が1億台km走る間に起こる死傷事故件数。例えば1件／億台キロとは、1万台の自動車が1万km走行した場合に、平均1件の死傷事故が発生することを意味する。</p>		



## 平成 2 4 年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b></p> <p>集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、県域が一体となって砂防事業を実施することにより、災害に強い福岡県を作るとともに、安全安心な県民生活の確保を図る。</p> <p><b>【定量的指標】</b></p> <p>●ハード対策の推進による土砂災害から保全される人口の増加          平成 2 2 年度当初 51,000 人 → 平成 2 6 年度末 54,000 人          (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成 2 6 年度	中間評価年度	平成 2 4 年度
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常砂防事業のうち、高さがおおむね 1 0 メートル以下の堰堤を整備する事業 (近年、土砂災害が発生した地区における事業を除く。)</li> <li>・急傾斜地崩壊対策事業のうち、高さがおおむね 3 0 メートル未満の斜面において実施する事業</li> <li>・総合流域防災事業</li> </ul>		
評 価	<p>平成 2 6 年度末の最終目標である保全人口 54,000 人を目指し事業を進めており、平成 2 4 年度末の中間目標は保全人口 53,000 人となっていた。</p> <p>これに対し、平成 2 4 年度末の実績としては保全人口 53,295 人となっており、順調に事業進捗している。</p> <p>当初計画のとおり、平成 2 6 年度末で保全人口 54,000 人を完了させる予定である。</p>		

## 平成 2 4 年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b>          集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、県域が一体となって砂防事業を実施することにより、災害に強い福岡県を作るとともに、安全安心な県民生活の確保を図る。</p> <p><b>【定量的指標】</b>          ●土砂災害から住民の生命・身体を守るため、市町村が実施する警戒避難体制の整備に資する土砂災害警戒区域等の指定数の増加          平成 2 2 年度当初 972 箇所 → 平成 2 6 年度末 13,150 箇所          (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成 2 6 年度	中間評価年度	平成 2 4 年度
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合流域防災事業</li> </ul>		
評 価	<p>平成 2 6 年度末の最終目標 13,150 箇所の区域指定を目指し事業を進めており、平成 2 4 年度末の中間目標は 9,100 箇所の区域指定となっていた。</p> <p>これに対し、平成 2 4 年度末の実績としては 9,413 箇所の区域指定を行っており、順調に事業進捗している。</p> <p>当初計画のとおり、平成 2 6 年度末で 13,150 箇所の区域指定を完了させる予定である。</p>		

## 平成 2 4 年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b>          集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、県域が一体となって海岸事業を実施することにより、災害に強い福岡県を作るとともに、安全安心な県民生活の確保を図る。</p> <p><b>【定量的指標】</b>          ●豊前豊後沿岸域において、計画高潮発生時に浸水被害を受けることが想定される区域の減少          平成 2 2 年度当初 570.8ha → 平成 2 6 年度末 398.4ha          (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成 2 6 年度	中間評価年度	平成 2 4 年度
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海岸堤防老朽化対策緊急事業</li> </ul>		
評 価	<p>平成 2 6 年度末の最終目標である豊前豊後沿岸域における高潮発生時の浸水被害区域の減少を目指し事業を進めている。</p> <p>平成 2 4 年度末の中間目標 435.4ha に対して実績は 434.5ha と順調に事業進捗している。</p> <p>当初計画のとおり、平成 2 6 年度末で浸水被害区域の減少 398.4ha を達成する予定である。</p>		

## 平成 2 4 年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b>          港湾緑地の整備や既存港湾施設の改良等を行い、港湾利用者の利便性及び安全性の向上を図る。</p> <p><b>【定量的指標】</b>          ●港湾における荷役等の施設利用に対する支障の低減          支障率 平成 2 2 年度 3 5 % → 平成 2 6 年度 0 %          (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成 2 6 年度	中間評価年度	平成 2 4 年度
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾改修事業のうち、防波堤整備事業（小規模な港湾施設の防護を目的とした事業に限る。）</li> <li>・港湾改修事業のうち、放置艇対策に関する事業</li> <li>・港湾改修事業のうち、既存施設の利用転換、港湾空間の再開発・高度利用化及び利便性の向上並びに既存施設の延命化のための事業であって、事業規模が 5 億円未満のもの</li> <li>・港湾施設長寿命化計画策定事業</li> </ul>		
評 価	<p>平成 2 6 年度末の最終目標である支障率 0 % を目指し事業を進めており、平成 2 4 年度末の中間目標は支障率 1 8 % となっていた。</p> <p>これに対し、平成 2 4 年度末の実績としては支障率 2 5 % となっており、目標に若干達していない状況である。</p> <p>今後は平成 2 6 年度末の最終目標に向けて、鋭意整備を進めていく予定である。</p>		

## 平成 2 4 年度評価結果

成果目標	<p>【目標】</p> <p>港湾緑地の整備や既存港湾施設の改良等を行い、港湾利用者の利便性及び安全性の向上を図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <p>●長寿命化計画策定完了施設の増大</p> <p>平成 2 2 年度 計画策定施設率 2 1 % → 平成 2 6 年度 1 0 0 % (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成 2 6 年度	中間評価年度	平成 2 4 年度
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾施設長寿命化計画策定事業</li> <li>・ みなと振興計画に基づく事業</li> </ul>		
評 価	<p>平成 2 6 年度末の最終目標である計画策定施設率 1 0 0 % を目指し事業を進めており、平成 2 4 年度末の中間目標は計画策定施設率 1 0 0 % となっていた。</p> <p>これに対し、平成 2 4 年度末の実績としては計画策定施設率 9 5 % となっており、目標に若干達していない状況である。</p> <p>今後は平成 2 6 年度末の最終目標に向けて、鋭意作業を進めていく予定である。</p>		

## 平成 2 4 年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b> 福岡都市圏における都市基盤の整備により、福岡市を中心とした周辺市街地の渋滞緩和と効率的な物流を確保し、経済活力の向上を図る。</p> <p><b>【定量的指標】</b> ●幹線道路までの総短縮時間 平成 1 9 年度当初 0.0 → 平成 2 4 年度末 1,549 (<math>\Sigma</math> (要素事業による総短縮時間 × 当該地点交通量)) (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成 2 4 年度	中間評価年度	—
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、道路の改良に係る事業（国の直轄事業その他の他事業と密接に関連して実施する事業又は大規模構造物の整備を伴う事業を除く。）</li> </ul>		
評 価	<p>効果の大きな 4 車線化事業で工事中の交通の安全面に考慮した事業推進を行ったことで若干の工程の遅延が生じ、幹線道路までの総短縮時間を 1,386 時間としたものの、目標達成には至らなかった。</p>		

## 平成 2 4 年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b>          空港・港湾・ICといった拠点周辺の都市基盤整備を図ることで、物流拠点へのアクセス時間の短縮を図り、交流連携機能を高める。</p> <p><b>【定量的指標】</b></p> <p>●高次救急医療施設へのアクセス総短縮時間          平成19年度当初 0.0 → 平成24年度末 225          (Σ(要素事業による総短縮時間×当該地点交通量))          (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>		
達成予定年度	平成24年度	中間評価年度	—
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路（一般国道、都道府県道又は市町村道に限る。）の新築又は改築に関する事業のうち、道路の改良に係る事業（国の直轄事業その他の他事業と密接に関連して実施する事業又は大規模構造物の整備を伴う事業を除く。）</li> </ul>		
評価	<p>高次救急医療施設へのアクセス総短縮時間が 225 時間となり、目標を達成することができた。</p>		

## 平成24年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b></p> <p>自動車交通公害対策を的確かつ効率的に推進するため、自動車交通に起因する騒音に係る環境への影響を把握することを目標とする。</p> <p><b>【定量的指標】</b></p> <p>●県内（直方市他4市町）の幹線道路8路線における環境基準の達成状況について面的な評価を行う。</p>																																																															
達成予定年度	平成24年度	中間評価年度	—																																																													
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <p>・他の社会資本整備に関する事業等と一体となってその効果を増大させるため実施されるものとして事業実施計画の添付資料に記載された効果促進事業</p>																																																															
評価	<p>平成23年度は以下の6路線において環境基準の達成状況について面的な評価を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">路線名</th> <th style="width: 15%;">騒音観測地点</th> <th style="width: 15%;">評価区間の始点の住所</th> <th style="width: 15%;">評価区間の終点の住所</th> <th style="width: 5%;">評価区間の延長 (km)</th> <th style="width: 15%;">評価区間の市町村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国道200号</td> <td>直方市大字頓野</td> <td>直方市頓野</td> <td>直方市津田町</td> <td>0.8</td> <td>直方市</td> </tr> <tr> <td>県道直方芦屋線</td> <td>直方市新知町</td> <td>直方市新町</td> <td>直方市大字榎木</td> <td>4.7</td> <td>直方市</td> </tr> <tr> <td>県道直方行橋線</td> <td>直方市大字頓野</td> <td>直方市頓野</td> <td>直方市大字上頓野</td> <td>5.7</td> <td>直方市</td> </tr> <tr> <td>県道直方停車場線</td> <td>直方市津田町</td> <td>直方市須崎町</td> <td>直方市日吉町</td> <td>0.5</td> <td>直方市</td> </tr> <tr> <td>国道201号</td> <td>田川市大字川宮</td> <td>田川市川宮</td> <td>香春町大字高野</td> <td>6.7</td> <td>田川市、香春町</td> </tr> <tr> <td>国道322号</td> <td>田川市平松町</td> <td>田川郡香春町大字香春</td> <td>田川市桜町</td> <td>6.6</td> <td>田川市、香春町</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度は以下の2路線において環境基準の達成状況について面的な評価を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">路線名</th> <th style="width: 15%;">測定地点の住所</th> <th style="width: 15%;">評価区間の始点の住所</th> <th style="width: 15%;">評価区間の終点の住所</th> <th style="width: 5%;">評価区間の延長 (km)</th> <th style="width: 15%;">評価区間の市町村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般国道200号</td> <td>嘉穂郡桂川町大字寿命</td> <td>嘉穂郡桂川町大字瀬戸</td> <td>嘉穂郡桂川町大字九郎丸</td> <td>2.7</td> <td>桂川町</td> </tr> <tr> <td>主要地方道田川直方線</td> <td>田川郡福智町上野</td> <td>田川郡福智町伊方</td> <td>田川郡福智町上野</td> <td>5.7</td> <td>福智町</td> </tr> </tbody> </table>				路線名	騒音観測地点	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価区間の延長 (km)	評価区間の市町村	国道200号	直方市大字頓野	直方市頓野	直方市津田町	0.8	直方市	県道直方芦屋線	直方市新知町	直方市新町	直方市大字榎木	4.7	直方市	県道直方行橋線	直方市大字頓野	直方市頓野	直方市大字上頓野	5.7	直方市	県道直方停車場線	直方市津田町	直方市須崎町	直方市日吉町	0.5	直方市	国道201号	田川市大字川宮	田川市川宮	香春町大字高野	6.7	田川市、香春町	国道322号	田川市平松町	田川郡香春町大字香春	田川市桜町	6.6	田川市、香春町	路線名	測定地点の住所	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価区間の延長 (km)	評価区間の市町村	一般国道200号	嘉穂郡桂川町大字寿命	嘉穂郡桂川町大字瀬戸	嘉穂郡桂川町大字九郎丸	2.7	桂川町	主要地方道田川直方線	田川郡福智町上野	田川郡福智町伊方	田川郡福智町上野	5.7	福智町
路線名	騒音観測地点	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価区間の延長 (km)	評価区間の市町村																																																											
国道200号	直方市大字頓野	直方市頓野	直方市津田町	0.8	直方市																																																											
県道直方芦屋線	直方市新知町	直方市新町	直方市大字榎木	4.7	直方市																																																											
県道直方行橋線	直方市大字頓野	直方市頓野	直方市大字上頓野	5.7	直方市																																																											
県道直方停車場線	直方市津田町	直方市須崎町	直方市日吉町	0.5	直方市																																																											
国道201号	田川市大字川宮	田川市川宮	香春町大字高野	6.7	田川市、香春町																																																											
国道322号	田川市平松町	田川郡香春町大字香春	田川市桜町	6.6	田川市、香春町																																																											
路線名	測定地点の住所	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価区間の延長 (km)	評価区間の市町村																																																											
一般国道200号	嘉穂郡桂川町大字寿命	嘉穂郡桂川町大字瀬戸	嘉穂郡桂川町大字九郎丸	2.7	桂川町																																																											
主要地方道田川直方線	田川郡福智町上野	田川郡福智町伊方	田川郡福智町上野	5.7	福智町																																																											



## 平成24年度評価結果

成果目標	<p><b>【目標】</b></p> <p>自動車交通公害対策を的確かつ効率的に推進するため、自動車交通に起因する騒音に係る環境への影響を把握することを目標とする。</p> <p><b>【定量的指標】</b></p> <p>●県内（行橋市、苅田町）の幹線道路7路線における環境基準の達成状況について面的な評価を行う。</p>																																																									
達成予定年度	平成24年度	中間評価年度	—																																																							
対応事業	<p>社会資本整備に関する事業</p> <p>・他の社会資本整備に関する事業等と一体となってその効果を増大させるため実施されるものとして事業実施計画の添付資料に記載された効果促進事業</p>																																																									
評価	<p>平成23年度は以下の5路線において環境基準の達成状況について面的な評価を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">路線名</th> <th style="width: 15%;">騒音観測地点</th> <th style="width: 20%;">評価区間の始点の住所</th> <th style="width: 20%;">評価区間の終点の住所</th> <th style="width: 10%;">評価区間の延長 (km)</th> <th style="width: 20%;">評価区間の市町村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国道10号</td> <td>行橋市東大橋</td> <td>京都郡苅田町大字二崎</td> <td>行橋市金屋</td> <td>2.8</td> <td>行橋市、苅田町</td> </tr> <tr> <td>国道201号</td> <td>行橋市行事</td> <td>行橋市中津熊</td> <td>行橋市行事4丁目</td> <td>1.5</td> <td>行橋市</td> </tr> <tr> <td>国道496号</td> <td>行橋市神田町</td> <td>行橋市西宮市1</td> <td>行橋市門越町</td> <td>2.2</td> <td>行橋市</td> </tr> <tr> <td>国道201号</td> <td>行橋市大字中津熊</td> <td>行橋市行事</td> <td>京都郡苅田町大字二崎</td> <td>1.9</td> <td>行橋市、苅田町</td> </tr> <tr> <td>国道10号</td> <td>京都郡苅田町富久町</td> <td>苅田町若久2丁目</td> <td>苅田町二崎</td> <td>6.4</td> <td>苅田町</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度は以下の2路線において環境基準の達成状況について面的な評価を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">路線名</th> <th style="width: 15%;">測定地点の住所</th> <th style="width: 20%;">評価区間の始点の住所</th> <th style="width: 20%;">評価区間の終点の住所</th> <th style="width: 10%;">評価区間の延長 (km)</th> <th style="width: 20%;">評価区間の市町村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般国道3号</td> <td>遠賀郡岡垣町山田峠</td> <td>遠賀郡岡垣町大字山田</td> <td>遠賀郡岡垣町鍋田1丁目3</td> <td>1.4</td> <td>岡垣町</td> </tr> <tr> <td>一般県道中津豊前線</td> <td>築上郡吉富町大字直江</td> <td>築上郡吉富町大字広津</td> <td>築上郡吉富町大字土屋</td> <td>1.7</td> <td>吉富町</td> </tr> </tbody> </table>				路線名	騒音観測地点	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価区間の延長 (km)	評価区間の市町村	国道10号	行橋市東大橋	京都郡苅田町大字二崎	行橋市金屋	2.8	行橋市、苅田町	国道201号	行橋市行事	行橋市中津熊	行橋市行事4丁目	1.5	行橋市	国道496号	行橋市神田町	行橋市西宮市1	行橋市門越町	2.2	行橋市	国道201号	行橋市大字中津熊	行橋市行事	京都郡苅田町大字二崎	1.9	行橋市、苅田町	国道10号	京都郡苅田町富久町	苅田町若久2丁目	苅田町二崎	6.4	苅田町	路線名	測定地点の住所	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価区間の延長 (km)	評価区間の市町村	一般国道3号	遠賀郡岡垣町山田峠	遠賀郡岡垣町大字山田	遠賀郡岡垣町鍋田1丁目3	1.4	岡垣町	一般県道中津豊前線	築上郡吉富町大字直江	築上郡吉富町大字広津	築上郡吉富町大字土屋	1.7	吉富町
路線名	騒音観測地点	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価区間の延長 (km)	評価区間の市町村																																																					
国道10号	行橋市東大橋	京都郡苅田町大字二崎	行橋市金屋	2.8	行橋市、苅田町																																																					
国道201号	行橋市行事	行橋市中津熊	行橋市行事4丁目	1.5	行橋市																																																					
国道496号	行橋市神田町	行橋市西宮市1	行橋市門越町	2.2	行橋市																																																					
国道201号	行橋市大字中津熊	行橋市行事	京都郡苅田町大字二崎	1.9	行橋市、苅田町																																																					
国道10号	京都郡苅田町富久町	苅田町若久2丁目	苅田町二崎	6.4	苅田町																																																					
路線名	測定地点の住所	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価区間の延長 (km)	評価区間の市町村																																																					
一般国道3号	遠賀郡岡垣町山田峠	遠賀郡岡垣町大字山田	遠賀郡岡垣町鍋田1丁目3	1.4	岡垣町																																																					
一般県道中津豊前線	築上郡吉富町大字直江	築上郡吉富町大字広津	築上郡吉富町大字土屋	1.7	吉富町																																																					